



山形県木材産業協同組合

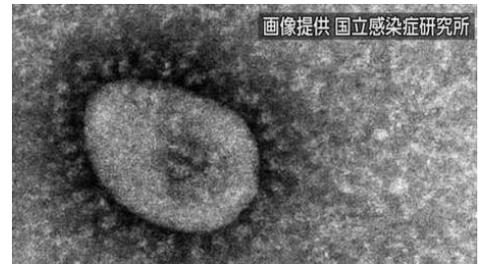
〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次	1. イベント中止相次ぐ!!	4. 林野庁令和3年度補正予算速報!!
	2. やまがた中央木材市場初市開催!	5. 「木の国やまがた」DVD (県南版) 製作!!
	3. 東北地区需給情報連絡協議会開催!!	6. ウッドショックとウッドチャンス!!



1 オミクロン株猛威によりイベント中止相次ぐ!!

今月20日以降急激にオミクロン株の感染者が激増し、県では国に対しまん延防止等重点措置を申請し、27日から2月20日までをコロナウイルス感染症対策(飲食店の営業時間の短縮要請や会食時の人数制限など)を実施する期間とした。これらを受け、14日開催予定の素材生産部会研修会兼新年会(山形市)や26日新春講演会(山形市)、31日からのモクコレ2022(東京都:一部Web開催)が中止となった。今後しばらくはWeb開催が続きそうだ。



埼玉医科大学総合医療センター感染症科の岡秀昭教授は「コロナは軽症で肺炎にならなくても、高熱やウイルスによるダメージがあり、持病が悪化することがある。腎臓の悪い人や糖尿病の人は、オミクロン株で圧倒的に感染者数が増えると、それによって持病が悪化し、あるいはほかの病気が発症するというリスクにもなってくる」と指摘する。気を付けましょう!!

新型コロナウイルス 変異株 (WHO=世界保健機関まとめ)				
VOC = 懸念される変異株				
α	β	γ	δ	○
(アルファ株)	(ベータ株)	(ガンマ株)	(デルタ株)	(オミクロン株)
2020年12月 イギリス で最初に報告	2020年12月 南アフリカ で最初に報告	2021年1月 ブラジル で拡大 報告	2020年10月 インド で同じ系統が 最初に報告	2021年11月 南アフリカ が最初に報告

2 やまがた中央木材市場初市と県産広葉樹展示会開催!!



1月13日(木)やまがた中央木材市場初市にて、県産広葉樹展示会(木産協主催)を開催した。買い方約15名が参加し、県産製材品等を次々とセリ落としていった。社長の挨拶でも紹介されましたが、全国的なウッドショック等により、国産製材品価格も高止まり傾向が続いている。ここにきて油脂等の高騰も痛手で、材木店や工務店等もお手上げ状態である。この度は、初市に

併せて、阿部製材所自社産材利用も含めコストダウンを図り優良材を揃えて準備したとのこと。

また、セリの途中で木産協の時間をいただき、県で進めている広葉樹プロジェクト事業や県産JAS広葉樹材の利用拡大に向けPRさせていただいた。会場内には、広葉樹イベント用ボックスを積載した軽トラを持ち込み、実物大に近い無垢床材、壁材に直接見て触れて特性を感じてもらった。



3 東北地区需給情報連絡協議会 Web 開催!!

1月20日(木)第3回国産材の安定供給体制の構築に向けた東北地区需給情報連絡協議会がホテルメトロポリタン盛岡とオンライン併用で開催された。本県からは、県庁小野智史主査(Web)、安部雄祐(山形城南木材市場社長(Web)、協和木材(新庄工場)矢口大地管理部長(会場)、県森連(Web)、木産協(Web)等が出席した。冒頭、林野庁木材産業課永島課長補佐が木材業界の現状を図表で紹介した。その中で、外材の輸入量がやや回復傾向にあるが、構造材が約2倍の高値で高止まり状態が続いていることや、当初のアメリカの住宅事情は落ち着いたが、コンテナ不足や油脂等の高騰、荷受け労働者不足等で新たな値上げが始まっているなどの報告があった。安部社長は、発言の中で合板不足や3月の決算期を迎えた買い控え、降雪による影響、原木高によるグリーン材の採算割れ等の県内事情を説明した。今回の協議会では、ウッドショックに対応するため、素材生産も製材・合板・集成材工場ともフル生産で対応して、輸入減の代替資材としての国産材需要に役立っている状況を確認できた。もはや残業等でカバーするには限界があり、今後は人員増や設備投資が伴うこととなるが、様々な課題があるため一気には解決できないことをみんなで確認できた意義は大きい。

4 林野庁令和3年度補正予算(JAS事業等)速報!!

12月20日(月)林野庁令和3年度補正予算が成立しました。その後、事業実施団体が公募され、この度JAS構造材実証・転換実証(新規)支援事業と外構部の木質化対策支援事業に全木連・全木協連の事業提案が採択されました。早ければ、3月に事業が開始されます。予算額も27億4千万円と今年度より増額されています。木堀(外構部の木質化対策支援事業)は予算額が6億4千万円と半減していますが、どちらも今年度分がコロナやウッドショックのため、取り下げ申請が多数発生したと聞いており、十分対応できると思います。どちらも電子申請になりますので、ホームページから今年度申請書を参考に事前準備をお願いします。また、新規の転換実証支援事業は、住宅等の建築において調達が困難になった資材を設計・施工上の工夫を通じて代替できる木製品に転換する取り組みで、今後詳細について、林野庁と調整していく。一般JAS構造材普及拡大事業も継続する見込みである。

5 「木の国やまがた」DVD(県南版)製作!!



JAS構造材利用拡大を図るため、モクコレ会場用プロモーションDVD「木の国やまがた」県南版を製作した。これは、県内外の方に、山形の自然と木材産業等に興味を持ってもらうために、JAS認証工場を中心に加工から木材利用優良施設までを紹介した。今回は山形県南版として置賜地域・東南村山地域を中心に約15分にまとめた。モクコレは会場でのリアル開催が中止となったが、DVD

は木産協のホームページに2月から掲載予定ですのでご覧ください。オープニングで山形の自然や歴史的木造建築物(上杉神社、山寺、銀山温泉、羽黒山五重塔、山居倉庫等)を紹介し、その後、県産木材やJAS材を多用した木造建築事例(白鷹町まちづくり複合施設、シェルターなんようホール、田沢コミュニティセンター等)を紹介している。また、木質化事例(県庁、アイタ工業会議室等)や木質バイオマス利用、県産広葉樹利用、新たな利用事例(MOKUKA)なども紹介する。最後に県南地域のJAS認証工場等を紹介している。

6 ウッドショックとウッドチャンス!!

節穴の目：これまでのオイルショック（トイレトペーパー不足？）やリーマンショック（金融取引等低迷）に加え、新たにウッドショックが仲間入りした。業界関係者以外の一般国民まで浸透したかどうかは別であるが、家を新築する人以外は実感がないのも事実である。それよりも山形であれば、大雪ショック、コロナまん延防止等重点措置認定ショック、生活用品値上げショックの影響の方がはるかに大きい。気候変動による影響を除けば、みんなコロナウィルス感染症が主因となっているものばかりである。ウッドショックに特化すれば、中国・ロシアの動向を見ていれば、製材も合板も価格下落は当分見込めない。また、世界的なコンテナ船不足や原油高に起因する船運賃値上げ、港湾外滞船状況、港湾荷受け労働者不足も解消する目途がたたない状況が続いている。欧州材（WWやRW）も出材量が減った他に高い価格帯での契約物件が今後入荷することになり材価の下落は見込めず、このまま国産材集成材との価格競争が続きそうだ。豪州材（RP等）もオミクロンによる主要都市のロックダウン等が続いており輸入減が続き、逆に輸出先に加わっている状況である。これらは、消費者側から見ればウッドショックであるが、川上側の山主にとっては昭和40年以降久しぶりに経験するウッドチャンスでもある。素材価格の高騰をぜひ山主に確実に還元してもらいたい。それが、再生林にも繋がり正しい持続可能な循環資源の木質バイオマスとなるからである。川上側・川中側の収入増により、中山間地域の活性化に繋がることを願いたい。

7 2月以降の行事予定!!

日程	行事名	予定出席者
2. 10	山形県森林管理推進協議会 (Web 会議)	専務
2. 14	専門職大学就学支援プロジェクト会議 建設会館	専務
2. 17	村山地域森林管理推進協議会 (Web 会議)	専務
2. 24	合法木材特別研修会 森林会館	専務
3. 16	全木連・全木協連等理事会 木材会館	理事長
3. 17	全木連事務局長会議 木材会館	専務

8 日本百名山シリーズ紹介（雌阿寒岳：メアカンダケ）

帯広から道東道を北東に向かい、松山千春の足寄町から東に深い樹林帯をしばらく進む。今回選んだ雌阿寒温泉駐車場が雌阿寒岳登山の最短ルートである。雄阿寒岳はマリモで知られる阿寒湖の対岸に位置する。百名山は雌阿寒岳 (1,499m) を指しており、噴火口や阿寒富士を見下ろすロケーションとメアカンフスマ等の固有種高山植物群が点在している。北海道9つの百名山の中で一番標高が低く、登山道が整備されており、ヒグマの木彫りは有名だが、出没率は低いようだ。また、山頂まで2時間程度と容易であることから、初心者向きの山である。1時間ほど樹林帯を登ると砂礫地帯に



で。そこに花の群落が出現する。左のメアカンフスマは本県鳥海山のチョウカイフスマと大きさ・色ともそっくりな美しい花であった。山頂からは、噴煙を上げる火口と阿寒富士が見えるはずだったが、あいにくのガスがかかってしまった。下山後は日帰り温泉雌阿寒温泉や阿寒湖畔温泉が待っている。周辺はアイヌ文化とマリモの世界が広がっている。

9 県からのお知らせ（森林研究研修センターから）

林業・木材ビジネスセミナー



日時:令和4年2月14日(月) 13:00~16:30

場所:ヒルズサンピア山形 蔵王の間 (山形市蔵王飯田)

【第一部】講演 (13:00~14:00)

『森林資源を活用した新たなビジネスチャンスを探る』

《講師》林材ライター 赤堀 楠雄 氏

- ◆小さな林業（地域林業）を支える新たな地域材生産の連携の枠組みの構築
- ◆川上から川下まで地域間連携による新たな木材利用の推進など



【第二部】事例報告 (14:15~15:15)

〈林業・木材産業・建築・設計関係者による事例報告〉

《特別報告》

「林業成長産業の事業展開」

◎ 金山町森林組合

《事例報告》

- ◆各分野で活躍する若手リーダー等による新たな取組紹介



【第三部】意見交換会

(15:30~16:30)

《テーマ》

「森林資源を活用した新たなビジネスチャンス」

《進行役》赤堀 楠雄 氏

《参加者》

事例報告者及び会場参加者



【同日開催】令和3年度山形県林業グループ活動発表会 (10:00~11:30)

〈ヒルズサンピア山形 月山の間〉

〈県内各地で活動する林業グループの活動内容についての紹介〉

※ こちらへもぜひご参加ください。



主催：山形県森林研究研修センター・山形県林業グループ連絡協議会

山形県指導林業士会・山形県青年林業士会・（一社）山形県林業コンサルタント

後援：山形県森林協会・山形県木材産業協同組合

10 県からのご案内 (置賜総合支庁森林整備課から)



置賜木
OKITAMA NOKI

モリ

置賜森林ノミクス 推進フォーラム2022

日時: 2022年**2月22日**(火) 14:00~16:00
場所: シェルターなんようホール(小ホール)
(南陽市文化会館)

置賜の森林・林業を活性化させるヒントがここにあります

基調講演 「スマート林業による林業イノベーション」

講師 **加藤 正人氏** 信州大学農学部 教授

1957年北海道生まれ。1983年北海道(道立林業試験場)入庁、資源解析科長を経て、2005年より信州大学農学部教授。北海道大学農学博士。専門は森林計測・計画学、ICTスマート林業、ドローンレーザ計測、国際共同研究。

「レーザセンシングによるスマート精密林業」コンソーシアム代表、大学発ベンチャー精密林業計測株式の創業者・技術顧問。日本を元気にする産学官連携による林業の成長産業化と社会実装に取り組んでいる。

ご注意

- ☐新型コロナウイルス感染症対策のため、会場への人数制限を行います。
- ☐入場には、事前の申込が必要です。
- ☐発熱などの風邪の症状がみられる方は参加ご遠慮願います。
- ☐会場では、マスク着用、手指の消毒、咳エチケットのご協力をお願いします。
- ☐新型コロナウイルス感染者状況に応じて、講演会は、内容変更・中止になる可能性がございます。
- ☐中止の場合は、別途ご連絡をさせていただきますので、ご了承ください



主催 山形県置賜総合支庁/置賜林業推進協議会

参加
無料

11 住宅着工状況(12月期)

令和3年12月期の県内新設住宅着工戸数は378戸となり、対前月比88.7%、対前年同月比106.2%、対前年累計比は103.6%となった。2021年次の全国新設住宅着工数は856,484戸と5年ぶりに増加した。市町村別で山形市と上山市が伸びた。木造率は92.3%となった。

1 県内新設住宅着工戸数(令和3年12月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
12月	356	202	84	0	70	353	3	316	88.8%	223	5	88
R2.1月~12月	5,005	2,939	1,338	7	721	4,935	70	4,480	89.5%	3,259	87	1,134
03.1月	238	130	63	0	45	177	61	198	83.2%	148	6	44
2月	364	173	76	0	115	355	9	242	66.5%	180	4	58
3月	362	215	94	2	51	357	5	340	93.9%	231	5	104
4月	455	283	122	0	50	437	18	406	89.2%	337	7	62
5月	360	280	34	0	46	351	9	330	91.7%	283	4	43
6月	587	307	159	0	121	575	12	467	79.6%	338	8	121
7月	564	305	181	10	68	554	10	469	83.2%	352	6	111
8月	482	272	155	8	47	468	14	349	72.4%	286	5	58
9月	482	266	161	0	55	473	9	374	77.6%	300	7	67
10月	489	244	193	0	52	485	4	405	82.8%	278	6	121
11月	426	262	112	0	52	421	5	384	90.1%	305	4	75
12月	378	215	94	0	69	373	5	349	92.3%	235	8	106
対前月比	88.7%	82.1%	83.9%	-	132.7%	88.6%	100.0%	90.9%	-	77.0%	200.0%	141.3%
対前年同月比	106.2%	106.4%	111.9%	-	98.6%	105.7%	166.7%	110.4%	-	105.4%	160.0%	120.5%
02.1~当月計	5,005	2,939	1,338	7	721	4,935	70	4,480	89.5%	3,259	87	1,134
03.1~当月計	5,187	2,952	1,444	20	771	5,026	161	4,313	83.2%	3,273	70	970
対累計前年比	103.6%	100.4%	107.9%	285.7%	106.9%	101.8%	230.0%	96.3%	-	100.4%	80.5%	85.5%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和3年12月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	378	5,187	106.2%	103.6%	4,313
山形市	135	1,744	150.0%	129.7%	1,232
上山市	27	125	270.0%	130.2%	123
天童市	21	347	52.5%	75.4%	266
山辺町	6	58	120.0%	111.5%	54
中山町	3	26	33.3%	59.1%	25
東南村山	192	2,300	124.7%	115.2%	1,700
寒河江市	20	246	100.0%	91.1%	240
河北町	0	51	0.0%	72.9%	50
西川町	0	1	-	100.0%	1
朝日町	1	5	-	41.7%	5
大江町	0	12	0.0%	85.7%	12
西村山	21	315	84.0%	85.8%	308
村山市	4	62	200.0%	112.7%	54
東根市	43	351	122.9%	67.5%	332
尾花沢市	1	26	50.0%	92.9%	23
大石田町	0	7	-	43.8%	7
北村山	48	446	123.1%	72.1%	416
村山地域	261	3,061	119.7%	102.6%	2,424
新庄市	5	152	83.3%	140.7%	150
金山町	0	4	-	133.3%	4
最上町	1	8	-	66.7%	8
舟形町	0	9	0.0%	52.9%	9
真室川町	1	12	-	92.3%	12

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	1	-	33.3%	1
鮭川村	0	3	-	42.9%	3
戸沢村	0	20	-	-	5
最上地域	7	209	100.0%	128.2%	192
米沢市	14	290	50.0%	98.0%	279
南陽市	9	124	69.2%	80.0%	108
高島町	5	75	500.0%	77.3%	74
川西町	1	58	33.3%	193.3%	41
東南置賜	29	547	64.4%	94.6%	502
長井市	12	127	400.0%	80.9%	126
小国町	0	35	-	250.0%	9
白鷹町	2	37	100.0%	132.1%	37
飯豊町	2	21	200.0%	100.0%	21
西置賜	16	220	266.7%	100.0%	193
置賜地域	45	767	88.2%	96.1%	695
鶴岡市	32	638	72.7%	118.6%	531
三川町	1	26	50.0%	83.9%	26
庄内町	6	72	85.7%	133.3%	69
田川	39	736	73.6%	118.1%	626
酒田市	24	394	100.0%	96.1%	357
遊佐町	2	20	66.7%	71.4%	19
飽海	26	414	96.3%	94.5%	376
庄内地域	65	1,150	81.3%	108.4%	1,002

注:累計は令和3年1月~